



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

<http://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.568 2020.8.5

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

新型コロナ急拡大への対策を花川区長に申し入れ

PCR検査もっと!



花川区長(中央)に申し入れ書を手渡す日本共産党北区議員団

小・中学校で少人数数学級を

新型コロナウイルスの感染が急拡大している中、日本共産党北区議員団は7月30日、花川区長に感

染防止対策(第4次)を申し入れました。要請にあたり、感染急拡大を抑えるには全国の感染状況を

分析して感染震源地(エピセンター)を明確にし、そこに検査能力を集中的に投入することが必要と強調、北区でのPCR検査体制の抜本的拡充を求めました。また、国保料の引き下げや家賃支援給付金の適用拡大、エアコン設置助成など暮らしと営業を守るための支援、小・中学校での少人数数学級の実現など子どもたちの学びを保障する対策も求めました。区長は「感染が広がり、心を痛めている。スピード感を持って必要な対策を講じる」と応えました。(のの山けん)

- 1、施設の職員全体を対象にした検査、誰でも受けられるようにするなど、積極的なPCR検査の実施
- 2、国保料引下げなど暮らしと営業を守るための支援
- 3、少人数数学級など子どもたちの学びを保障する対策



↑申し入れの全文はこちらから

申し入れ要旨

いつでも、だれでも、何度でも 注目の「世田谷モデル」

新型コロナウイルスの感染急拡大を受けて、PCR検査の抜本的拡充を求める声が広がる下、世田谷区の保坂展人区長が、提案している「世田谷モデル」のPCR検査体制が注目されています。

PCR検査を一挙に広げる

保坂区長は、感染の抑え込みに成功しているニューヨーク市のように、「いつでも、だれでも、何度でも」受けられるPCR検査体制をめざすとし、医療機関や高齢者・障害者施設、保育園、学校で働く方など社会継続のために必要で、なおかつ多くの人と接

触せざるを得ない方は全員繰り返しチェックする「社会的検査」のしくみをつくるとしています。

これら大量の検査に対応できるように、体制

の拡充・強化と検査方法の改善を検討しています。

実施するための財源は？

こうした施策の実施には数億円規模の財源が必要です。

保坂区長は、区民の命と健康を守るためには、区が財源を支えることが必要と



しつつ、「GOTOトラベル」キャンペーンに投じている1兆円以上の予算は検査のために回すべきと指摘、「国や東京都に支援を求めていく」と主張しています。

世田谷区がめざす世界標準のPCR検査体制。北区でも早期に実施すべきです。(の山けん)

志茂1丁目 道路改修、草刈りが実現



雨が降ると水がたまる沿道



雑草が生い茂る志茂町公園

志茂1丁目で「雨が降ると道路に水がたまり、すべって転びそう」、「志茂町公園の雑草が道まではみだしている」との情報を頂き、ただちに区の道路公園課に連絡。すぐに対応してもらい、道路の改修、公園の草刈りが実現しました。

(の山けん)